

平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

女子 2回戦

安城学園 81

65 県立足羽

主審 御手洗 亮
副審 古谷 栄一郎

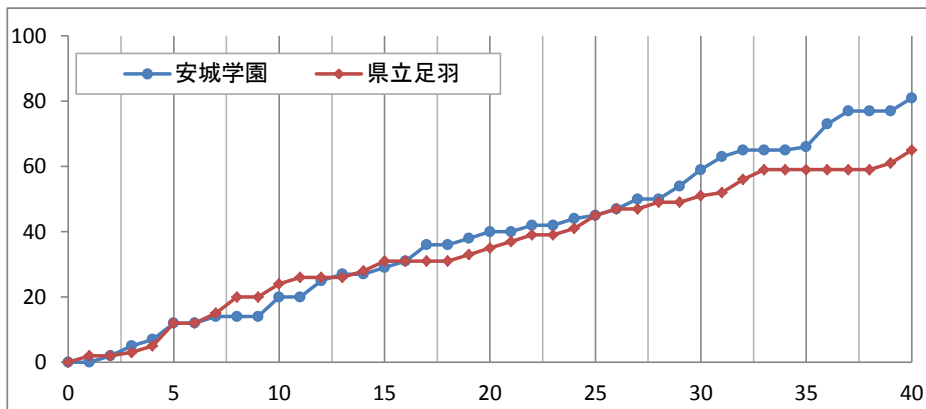
(愛知) ○

{

20 - 24
20 - 11
19 - 16
22 - 14

● (福井)

No. 30g3 日時: 2013年7月30日(火) 13:20 会場: ダイハツ九州アリーナ



安城学園

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 伊藤 さつき (C)	12	2	1	4	2
5	東 美緒	0	0	0	0	1
6	松田 菜希	2	0	1	0	1
7	* 山本 美緒	20	1	5	7	0
8	中村 朱里	8	0	4	0	3
9	酒井 梨衣	0	0	0	0	0
10	伊藤 朝香	0	0	0	0	0
11	山口 真穂	13	2	2	3	0
12	* アイメレクモニーク	7	0	3	1	4
13	土田 帆乃香	2	0	1	0	0
14	* 渡辺 実鈴	13	1	4	2	4
15	* 小久保紗羅ジョイス	4	0	2	0	2
コーチ	金子 寛治					
合計		81	6	23	17	17

県立足羽

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 永井 菜摘 (C)	16	0	6	4	2
5	* 林 靖子	19	0	7	5	2
6	岡本 遥奈	8	2	0	2	1
7	* 高橋 成美	3	1	0	0	3
8	板橋 未歩	2	0	1	0	0
9	* 三木 里紗	7	0	3	1	3
10	佐野 汐里	4	0	1	2	3
11	木村 早帆	2	0	1	0	1
12	岩本 莉菜	0	0	0	0	0
13	波多野 由花	0	0	0	0	1
14	* 長谷川 玲子	0	0	0	0	2
15	小林 沙織	4	0	2	0	1
コーチ	林 慎一郎					
合計		65	3	21	14	19

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦 評

3回戦進出をかけて、安城学園、県立足羽との戦い。ティップ・オフのボールはまず安城学園でスタート。県立足羽#5のインサイドジャンプシュートで先制。一方、安城学園も#12のリバウンドシュートで返す。ほぼ互角の立ち上がりである。両チームともマンツーマンのディフェンスを展開し特に、ハーフコートでは厳しいプレッシャーをかける。その後、県立足羽は#4のドライブやステップイン、#6などの3ポイントで加点。安城学園は#4、7、12の速く、力強いプレーで加点。お互いに譲らず、一進一退を繰り返し、それぞれの持ち味を生かしながら攻守に動き、第1ピリオド24-20県立足羽リードで終了。

第2ピリオド、リードしている県立足羽ボールでスタート。お互いに厳しいディフェンスを展開。県立足羽、#5の強いプレーで得点するが安城学園#12のインサイド、#14スリーポイント、#4のシュートなどで逆転する。その後もお互い、コートを動き回り、県立足羽は#4を、安城学園は#7を中心に加点する。残り5分を切って、やや安城学園の気迫が上回り、県立足羽の動きを抑えた。40-35、安城学園のリードで前半終了。

第3ピリオド開始、前半同様、厳しいディフェンスで簡単にはシュートを許さないようなディフェンス。その中で県立足羽、#5、#9などの気迫あふれるプレーで得点。負けじと安城学園、#14、#7の力のこもったプレーで得点。特に県立足羽はリバウンドから#5が走って得点。1点差とする。その後1点を競う展開となるが安城学園#7のスリーポイントが決まり3点リード。残り3分29秒、安城学園、マイボールでのタイムアウト。セットプレーは決まらなかったものの流れを呼び込み、#4のスリーポイントなどで連続得点。59-51と若干差を広げて終了。

第4ピリオド、安城学園、#8の得点で始まった。やや疲れが見え始めた県立足羽は#5のドライブやリバウンドシュートで対抗するが、安城学園の勢いは止まらない。県立足羽は残り5分42でタイムアウトをとるものの流れは変わらず、安城学園#7中心のオフェンスを止めることができない。勢いに乗る安城学園は多様なオフェンススタイルで安城学園は加点していく。最終的には81-65という結果になったが、一進一退の目を離せない場面がほとんどであった。お互いの健闘が光る高校生らしい好ゲームであった。

© 2013 Yuzo Kosaka All Rights Reserved Vol.007a

| 記者 | 久恒 晴彦 (所属) 大分県バスケットボール協会